

令和8年度 西條中学校 アクションプラン

R8	API	AP2
キーワード	個別最適な学習	非認知(自分と向き合う力)
重点課題	問題(課題)解決の意識の持続・向上を図るための学習方法の工夫	生徒がさまざまな人との関わりを通して自分自身をモニタリングし、意識的に行動をコントロールできるようにするための教師の関わり方の工夫
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の目標に向けて、方法、進め方、時間等を調整して学習に取り組むことができたと感じる生徒が80%以上 家庭学習に意欲的に取り組むことができたと感じる生徒が80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな人との関わりを通して、自らの内面を見つめ、行動を調整することができたと感じる生徒が80%以上 ゴールに向けて、必要な相手と対話したり、協働したりすることができたと感じる生徒が80%以上
具体的な方策	<p><方策1></p> <ul style="list-style-type: none"> 単元計画を生徒と共有したり、多様な学び方を示したりすることで活動の見通しをもたせ、一人一人が自己調整しながら学習を進めることができるように工夫する。 <p><方策2></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の終末に、学習課題を踏まえて身に付いたことを自覚させたり、自己の学び方を振り返ったりする場面を設定する。 <p><方策3></p> <ul style="list-style-type: none"> 週末課題を活用し、学習専用端末を用いた課題を出したり、いくつかの課題から自分に合った課題を選択したりする等、家庭学習を習慣化するための工夫を実践する。 	<p><方策1></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業の中で関わり合いの場を意図的に設定する。授業や諸活動での関わり合いを大切に、学校行事や課外活動後の振り返りを実施する。 <p><方策2></p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の課題意識を高め、協働的な活動を引き出す課題を設定する。 <p><方策3></p> <ul style="list-style-type: none"> 互いのよさや違いを感じ、よりよい人間関係を築くことができるよう、構成的グループエンカウンターを用いたよりよい学級集団づくりを計画的に実践する。